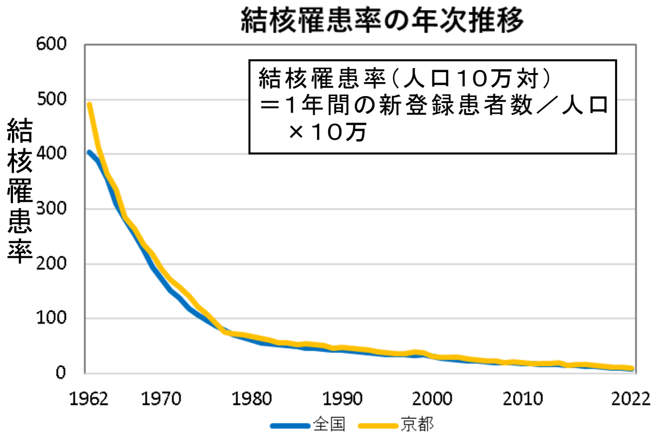
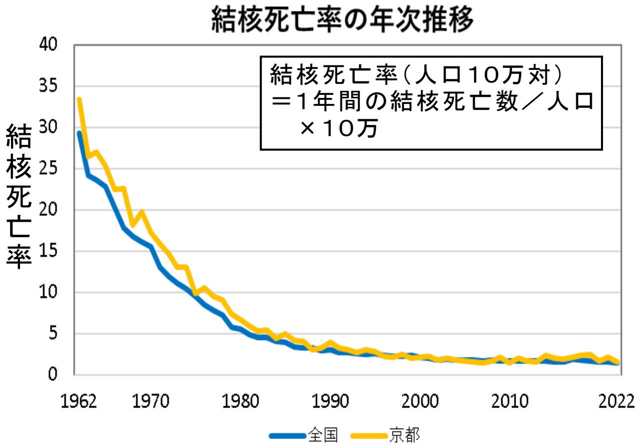
感染症の知識

結核 編
—Tuberculosis—

編集／発行
京都府丹後広域振興局健康福祉部
京都府丹後保健所　保健課
〒627-8570　京都府京丹後市峰山町丹波855
TEL.0772-62-4312
FAX.0772-62-4368

■未だ1年間に結核新登録患者1万人以上　！！





　2022 年(R4)の新登録患者数は全国で 10,235 人(管内で 5 人)でした。
　2022 年(R4)の結核罹患率は全国で 8.2 と減少傾向は続いていますが、欧米諸国と比較すると未だ高い状況です。
　結核は今もなお重要な感染症のひとつで過去の病気ではありません。
　なお、発症しても服薬で治ることがほとんどです。

区　分	新登録患者数（結核罹患率）	結核死亡数（結核死亡率）
1962 年(S37)	383,773（403.2）	27,852（29.3）
1992 年(H4)	42,715（39.3）	3,347（2.7）
2022 年(R4)	**10,235（8.2）**	**1,664（1.4）**

■血液検査（QFT 検査）で陽性と言われたけど、どういう意味？

　感染性の結核患者の接触者等を対象に、結核菌に感染したかを調べるため、QFT 検査を行います。QFT 陽性の場合、過去と最近の区別はできませんが結核菌に感染していることが疑われます。感染とは、体内に結核菌が潜んでいる状態であり、症状はありません。発病とは感染した後に、結核菌が活動を始め菌が増殖している状態です。結核菌が体の外に出るような状態（排菌）が感染性の結核であり入院が必要となります。
　感染や発病していても排菌していなければ、自宅等で生活できます。

■結核はどうやってうつるの？

空 気 感 染	患者が咳やくしゃみをしたとき飛び散るしぶきの中には、結核菌が含まれています。飛び散った結核菌は、長時間空気中を浮遊し、それを吸い込むことにより感染します。空気感染を起こす疾患としては、結核、麻しん、水痘が知られています。 ＜参考＞ インフルエンザは、咳やくしゃみに含まれるウイルスが直接、口や鼻から侵入することにより感染する飛沫感染です。

■結核はどんな症状がでるの？

●感染から発病までの期間

結核の場合は数ヶ月～数十年ですが、感染して発病する人は10人に1人程度です。
その多くが数ヶ月～2年以内に発病します。
抵抗力の弱い人は注意が必要です。

●主な症状

肺結核では、咳、痰、発熱、倦怠感、体重減少、頭痛、胸痛などです。
高齢者では、咳などの典型的な症状がなく、倦怠感、体重減少のみで発病する場合もあります。

■結核はどうやって治すの？

●治療方法

抗結核薬を6～9ヶ月、服薬することになります。結核の治療で大切なことは、処方された抗結核薬を決められた期間、確実に飲み続けることです。

【診断方法】
胸部エックス線検査、喀痰検査、QFT 検査、ツベルクリン反応検査などで診断します。

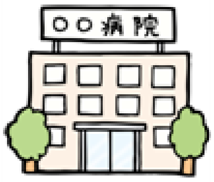
■周りの人は大丈夫なの？

保健所は医師による結核発生届を受け、患者の病状確認と家族等との接触状況を調査し、接触者健診を実施します。接触者健診の主な目的は、感染者と発病者を見つけることです。

結核菌を吸い込んでも必ず感染するわけではなく、多くの場合、体の抵抗力により追い出されます。

菌が体内に残る（感染）ことがありますが、多くの場合、抵抗力により発病しません。ただし、高齢や合併症のために抵抗力が弱くなると発病することもあります。

感染者は発病を予防するため、抗結核薬を服薬することができます（公費負担）。



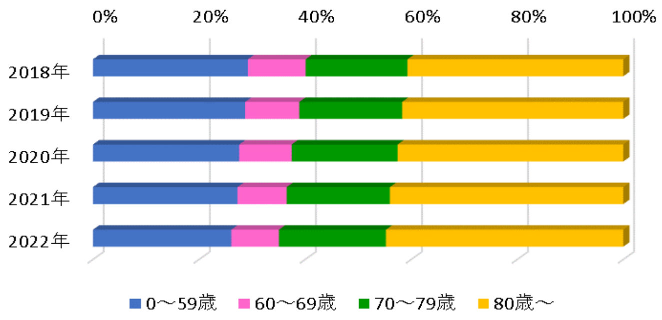
■どのような人の結核が多い？

結核患者の高齢化が進み、2022 年の 70 歳以上の割合は 65%に達しています。

65 歳以上の方や社会福祉施設職員などは、年 1 回の結核健診が義務付けられています。

また、HIV に感染している、免疫抑制剤の使用、ステロイド剤の使用、コントロール不良の糖尿病、喫煙なども発病リスクが高くなります。

過去5年間の新登録患者の年齢構成割合（全国）



☆ ☆ ☆ 結核にならないためには？　うつさないためには？ ☆ ☆ ☆

■症状があれば受診しましょう！
結核の初期症状は、風邪によく似ています。**「咳が2週間以上続く」「痰が出る」「体重が減少する」**などの症状が続く場合は、迷わず医療機関を受診しましょう。

■高齢者は再発にも注意しましょう！
高齢者は、既感染の結核が年をとり抵抗力が弱まり発病する場合や治療した結核が再発する場合があります。**65歳以上の方は、健康管理のため、年 1 回は住民健診などで胸部エックス線検査を受けましょう。**

■心身の抵抗力を高めましょう！
不規則な生活では、体の抵抗力が弱まり発病の可能性が高まります。**「栄養バランスのとれた食事」「適度な運動」「十分な睡眠」**で、普段から抵抗力をつける生活を心がけましょう。

■抗結核薬は必ず最後まで服薬しましょう！
発病した場合は、医師により抗結核薬が処方されます。その抗結核薬を6～9ヶ月の間、最後まで規則的に服薬すれば治ることがほとんどです。**途中で服薬を止めたり、不規則な服薬はよくありません。**

＜参考文献＞　結核Ｑ&Ａ　結核研究所
2022 年結核登録者情報調査年報集計結果　厚生労働省
結核の統計 2022　結核研究所
東京都感染症マニュアル 2018　東京都

＜感染症情報＞
京都府感染症情報センター　URL　http://www.pref.kyoto.jp/idsc/
国立感染症研究所　感染症疫学センター　URL　http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html